

第3波に対応した医療提供体制の強化

◆ コロナ患者受入れ医療機関・病床の機動的な確保

一般の医療体制を維持しつつ、感染者数により受入医療機関・病床を機動的に増減

最大確保病床数
全国トップ
(人口対比)

区分	～2月7日	2月8日～
最大確保病床	17医療機関 313床	<u>18医療機関 317床</u>
現時点確保病床	[11/1] 170床 ⇒ [12/16] 196床 ⇒ [1/2] 224床 ⇒ [1/7] 242床	<u>15医療機関 247床</u>

※コロナ感染を疑う精神疾患患者専用病床を1床確保（2月8日～）

◆ 身近な医療機関で診療を受けられる体制の充実

支援体制の拡充等により、発熱患者の外来診療を行う「診療・検査医療機関」を拡大

診療・検査医療機関数
全国トップ
(人口対比)

11月1日現在	2月8日現在
254医療機関 (77%)	<u>305医療機関 (90%)</u>

陽性率の低さ
全国トップ

◆ 一日最大検査能力の拡充

診療所での抗原検査キットの普及のほか、病院、検査機関、衛生環境研究所の検査体制を強化

第2波までの計画	病院、民間検査機関への機器整備 診療・検査医療機関の拡大	衛生環境研究所、病院への機器整備 診療・検査医療機関の拡大
2,800検体/日	4,800検体/日 (R2/12/1現在)	<u>5,600検体/日 (年度末見込み)</u>

来年度も病院に追加整備予定